

貧困地域への国際支援

「仕事に困るカンボジアの若者に、働ける場所を」という思いから製麺所「AIヌードル」を2015年に設立し、活動を続けています。



今月のAIヌードル

● 製麺の責任者ワンナが婚約！お幸せに！！

ワンナも婚約した彼女もクリスチャン、製麺所の近くのこの婚約式を挙げた教会で出会いました。ワンナの母親は子供の時タイに出稼ぎにいており、父親は別の女性と再婚した為、この教会の近所の祖母の家で育てられました(製麺所の近所)。この教会はワンナが17歳の時1年住んでおり、とてもお世話になった場所です。その後18歳になり愛センターで日本語の勉強、英語の講師兼トゥクトゥクドライバーをしながら住込みで働き、2014年にイラストレーター講師のボランティアをしていた大塚代表と知り合い今は製麺の責任者として働いています。



▼ワンナが奥さんと指輪を交換しているところ。
左から奥さんの母親、奥さん、ワンナ、ワンナの母親(今回はタイからお祝いに来ました)、ワンナの父親(カンボジアのコンボンチャムから来ました)



◀製麺のスタッフとその友達、大塚代表も参加

愛センターとAIヌードルの関係

「仕事に困るカンボジアの若者が、いきいきと働ける場所をつくりたい」そんな思いから2015年の夏プノンペンにあるフリースクール愛センターで、愛センターの卒業生をスタッフとして雇い製麺所「AIヌードル」が誕生しました。



▲スタートした時の製麺所
(左)ワンナ (右)ソッケイン



▲フリースクール愛センター
当時のワンナの住居は2階



エコキャップでのワクチン支援

皆さまに集めていただいたキャップは障害者施設で洗浄され、売却後の寄付金は「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて途上国に送られます。

今回の回収キャップ(2024/5/29分)

重量	換算寄付額
6.68 kg	67円
ポリオワクチン 約3.34人分	CO2削減量 21.04 kg
これまでの合計	
総重量	14.3 t

今後ともご協力いただけますようお願いいたします。

「SDGsスマイルプロジェクト」は、施設等に設置している飲料自動販売機の収益を活動資金とした取組です。このプロジェクトでは、国内外の貧困問題・社会問題に利用者様と職員が力を合わせてアクションを起こしています。

